

## 大分を創る人材を育成するカリキュラムにおいて育成する人材像

養成像	<p>養成像A：グローバル化された経済社会において、社会人としての汎用基礎力（対人力・対自己力・対課題力や知的財産、マナー、（基盤） ICTの基礎能力）に加え、ビジネスに関する基本的な知識を基に、大分の視点を活かして活躍できる人材。</p> <p>養成像B：[A]に加え、地域や地域の組織に存在する資源について、発見、分析、評価し、外部に発信する基本的な手法を活か（高度化）して、地域の活性化の実践的役割を果たせる人材。</p> <p>養成像C：[A]に加え、地域の企業が直面する課題を適切に評価し、学部横断的な多様な考え方を活かし、新規事業の開発・開（高度化）拓に実践的に取り組める人材。地域の組織が直面する課題を適切に評価し、学部横断的な多様な考え方を活かし、地域が自律的に活動できるよう地域ビジョンの作成や地域開発に実践的に取り組める人材。</p> <p><b>戦略的革新者「匠」認証</b> ：グローバル化された経済社会において、社会人としての汎用基礎力や学部横断的な多様な考え方を活かし、地域が直面している状況を把握し、地域の課題を見出し、優先順位をつけ、解決する方法論を考え出すことができ、解決案（新製品・新サービスの開発・新規の流通経路の開拓・新規の組織化など）について実践的に取り組める人材。地域組織の利益を生み出すことができる人材。</p>		
企業力 (起業家・ 企業人 養成)	<b>コンセプト:大分県を中心とした企業が求める「企業理解」「企業への関心」「企業に求められる能力」に関する教育内容</b>		<b>基盤/高度</b>
	①企業・職場、製品開発等の仕組みについて説明することができる。		基盤
	②経済の全体像（消費者や企業の動き、政府の役割およびその活動）、およびそれらの相互関係を説明することができる。		基盤
	③企業自体の魅力や企業のマーケティングにおける製品開発、ブランド戦略、価格設定について説明することができる。		基盤・高度
	④企業の経営者、管理職、専門職の職務内容を説明することができる。		基盤・高度
	⑤企業が抱える課題を知り、その解決策を提案することができる。		基盤・高度
	⑥企業を体験して、企業が直面する課題について多面的に考えることができる。		高度
	⑦提供される商品・サービス、財務戦略について新しい提案ができる。		高度
	⑧企業を体験して、企業が直面する課題についてその解決策を提案することができる。		高度
	⑨企業に参画して、経営者と共に、「ランドデザイン」や「戦略」等の新規事業を企画するすることができる。		高度
地域力 (大分豊じょう 化力の育成)	<b>コンセプト:大分県を中心とした地域が求める「地域理解」「地域への関心」に関する教育内容</b>		<b>基盤/高度</b>
	⑩大分の地域課題（教育・福祉・医療・科学・文化・防災等）について説明することができる。		基盤
	⑪大分のまちづくりや特色ある取組（教育・福祉・医療・科学・文化・防災等）について説明することができる。		基盤
	⑫大分県における県・市町村の政策について説明することができる。		基盤
	⑬大分の直面する地域課題を知り、その解決策を提案することができる。		基盤
	⑭地域での活動を体験し、地域社会が直面する地域課題について多面的に考えることができる。		高度
	⑮地域での活動を体験し、地域社会が直面する地域課題についてその解決策を提案することができる。		高度
⑯地域の取組に参画して、地域の街づくりや特色ある産業等の豊じょう化について多面的に分析して、中長期的な視野に立った「ランドデザイン」や「戦略」の新規事業を企画・実践することができる。		高度	

汎用力 の育成	<b>コンセプト:企業や地域から求められる就業基礎力、社会人基礎力、学士力等の汎用的能力を育成する教育内容</b>		<b>基盤/高度</b>
	対課題基礎力	⑰複数の情報手段による情報を収集して分析できる。	基盤
		⑱テーマに関する課題を発見して課題解決の目標を設定できる。	基盤
		⑲課題解決にむけた柔軟性を保った計画立案ができる。	基盤・高度
		⑳課題解決過程において、進捗状況の把握、管理および適正な遂行ができる。	基盤・高度
	対人基礎力	㉑多様な人や文化、考え方を理解することができる。	基盤
		㉒他者に分かりやすく説明・提案することができる。	基盤
		㉓他者と協調・協働して計画することができる。	基盤・高度
		㉔他者と協調・協働して実行することができる。	基盤・高度
		㉕組織や集団の一員として、積極性と柔軟性を持った議論を建設的に行うことができる。	基盤・高度
		㉖組織や集団をコントロールするための柔軟性を保った計画作成と協働作業ができる。	高度
	対自己基礎力	㉗社会や企業への関心がある。	基盤
		㉘組織・社会の一員としての規律（マナー）を守ることができる。	基盤・高度
		㉙組織・社会の一員としての自分の役割を認識することができる。	基盤・高度
		㉚組織・社会の一員としての自分の役割を認識して取り組むことができる。	基盤・高度
		㉛組織・社会の一員として他者の発想を受け入れつつ、持続的に取り組むことができる。	高度
		㉜モチベーションを維持して失敗を恐れず、粘り強く取り組むことができる。	高度
		㉝「働くこと」の意義を知り、自分なりの生き方を持って主体的に働こうとすることができる。	高度